

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | |
|-------------|--|-----------|----|----------------------|
| ①対象者 | 当院で2010年1月から2022年12月までに大腸癌肝転移に対して化学療法後に手術を行った患者。 | | | |
| ②研究課題名 | 化学療法後に消失した大腸癌肝転移の治療成績についての検証 | | | |
| ③実施予定期間 | 倫理審査委員会承認日 ~ 2025年12月 | | | |
| ④実施機関 | 静岡がんセンター | | | |
| ⑤研究代表者 | 氏名 | 相馬泰平 | 所属 | 肝胆膵外科 |
| ⑥当院の研究代表者 | 氏名 | 相馬泰平 | 所属 | 肝胆膵外科 |
| ⑦使用する検体・データ | 電子カルテ情報 | | | |
| ⑧他機関への提供 | 有（国名、機関名、試料・データ名） <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> | | | |
| ⑨提供先の責任者 | 氏名 | | 所属 | |
| ⑩目的 | 大腸癌肝転移に対する化学療法は急速に進歩しており、化学療法後に転移巣が画像検査で同定不可能となることがあります。しかし画像上の消失が必ずしも病理学的消失を意味するものではなく、画像上消失した病変を切除すべきかどうかについて一定の見解はありません。本研究の目的は、化学療法後に画像上消失した病変を切除した症例と経過観察とした症例の術後再発有無や生存成績を比較することで、画像上消失した病変に対する適切な治療指針を解明することです。 | | | |
| ⑪方法 | 対象となる患者さんの診療録から必要な情報を事務局で収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。 | | | |
| ⑫倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2024年2月2日 | | |
| ⑬公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑭プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。 | | | |
| ⑮知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。 | | | |
| ⑯利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑰資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | |
| ⑱問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線3379） |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長